

# 総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

## 【令和元年度決算見込み】

本市の令和元年度給水量（有収水量）は、6,929,868<sup>m</sup>で昨年度と比較して、0.5%減少しております。また、給水戸数は25,029戸で3.0%の増加となっております。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

主要事業といたしましては、安定給水を図るため、合併創設第2次変更認可事業、老朽管改良工事等を推進しました。

経理状況につきましては、別表2 損益計算書のとおりで、総収益につきましては、税抜きで13億4,673万円（前年度13億7,385万円）で2.0%の減少となっております。

一方、総費用につきましては、税抜きで11億4,411万8千円（前年度10億7,177万4千円）で6.7%の増加となっております。

この結果、当年度におきましては、2億261万3千円の純利益を生じる見込みであります。本年度の有収水量は、豪雨災害の影響等で大幅に使用水量の増加した平成30年度と比べると減少しておりますが、上水道の利用世帯（給水戸数）は増加していることから市民の皆様の節水意識の向上と世帯あたりの人数の減少がすすんでいると考えております。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

## 【令和2年度予算概要】

令和2年度の予算概要につきましては、業務の予定量として給水戸数27,000戸、年間総給水量7,560,000<sup>m</sup>を見込み、総収益につきましては、税込みで14億8,010万円、安定給水に必要な総費用につきましては、税込みで12億8,840万円を予定しております。

一方、資本的支出につきましては、継続して施工する必要のある水道施設整備費等として、税込みで17億670万円（前年度11億4,500万円）の予算を計上しております。

資本的支出の予算額は昨年度に比べ49.1%増加となっておりますが、これは、令和6年度頃の供用開始を目指して取り組んでおります 小寺低区配水池整備事業 及び 東部第5

水源地施設更新事業 が本年度から本格的に工事に着手するため大幅に増加しております。

事業運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

(別表)

1. 給水状況 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

区分	令和元年度	平成30年度	増減
給水戸数(戸)	25,029	24,291	738
給水人口(人)	66,249	65,897	352
配水量(m <sup>3</sup> )	7,772,165	7,819,474	△ 47,309
給水量(m <sup>3</sup> )	6,929,868	6,963,767	△ 33,899
有収率(%)	89.2	89.1	0.1

2. 損益計算書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	1,011,314
(2) 営業外収益	335,416
総収益 (1) + (2) A	1,346,730
(3) 営業費用	1,076,683
(4) 営業外費用	67,434
総費用 (3) + (4) B	1,144,117
当期純利益 A - B	202,613

(別表)

3. 貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	12,918,410	固定負債	3,090,195
流動資産	1,680,021	流動負債	714,882
		繰延収益	4,394,490
		負債合計	8,199,567
		資本金	4,591,365
		剰余金	1,807,499
		資本合計	6,398,864
資産合計	14,598,431	負債資本合計	14,598,431

4. 企業債残高明細 (令和2年3月31日現在)

(単位 千円)

借入先	前年度末 残高	令和元年度		本年度末 残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	1,368,319	0	131,482	1,236,837	令和22年3月
地方公共団体 金融機構	1,120,558	0	85,400	1,035,158	令和27年3月
吉備信用金庫	300,000	0	0	300,000	令和30年3月
中国銀行	176,600	0	7,600	169,000	令和28年3月
トマト銀行	0	450,000	0	450,000	令和32年3月
合計	2,965,477	450,000	224,482	3,190,995	

(別表)

5. 令和2年度予算の概要

収 益 的 収 支

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	1,159,300
(2) 営業外収益	320,800
総 収 益 (1) + (2) A	1,480,100
(3) 営業費用	1,215,700
(4) 営業外費用 外	72,700
総 費 用 (3) + (4) B	1,288,400
差 引 A-B	191,700

資 本 的 収 支

(単位 千円)

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
企 業 債	500,000	建 設 改 良 費	1,467,500
国 庫 補 助 金	68,156	企 業 債 償 還 金 外	239,200
分 担 金	67,859		
工 事 負 担 金	53,750		
他 会 計 補 助 金	64,435		
計	754,200	計	1,706,700

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額9億5千250万円は、当年度分消費税及び

地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金等で補てんするものとする。

# 総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

## 【令和元年度決算見込み】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年8月から、受水企業の一部に給水を開始し、当年度は、19社に対し契約水量2,000m<sup>3</sup>/日で給水いたしました。

経理状況につきましては、別表1 損益計算書のとおりで、総収益につきましては、税抜きで3,954万8千円（前年度4,117万2千円）で3.9%の減少となっております。

一方、総費用につきましては、税抜きで2,866万1千円（前年度2,528万3千円）で13.4%の増加となっております。

この結果、当年度におきましては、1,088万7千円の純利益を生じる見込みであります。

今後においても、安全・安定給水を図るとともに、計画的に施設の更新を実施することにより、事業の安定化に努めてまいります。

## 【令和2年度予算概要】

令和2年度の予算概要につきましては、受水企業19社、年間総給水量73万m<sup>3</sup>、1日当り基本使用水量2,000m<sup>3</sup>を見込み、総収益につきましては、税込みで4,200万円、総費用につきましては、税込みで3,100万円を予定しております。

一方、資本的支出の予算につきましては、企業債の償還金等として、税込みで6,600万円（前年度6,300万円）となっており、昨年度に比べ4.7%の増加となっております。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

(別表)

1.損益計算書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	33,502
(2) 営業外収益	6,046
総収益 (1)+(2) A	39,548
(3) 営業費用	28,328
(4) 営業外費用	333
総費用 (3)+(4) B	28,661
当期純利益 A-B	10,887

2.貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	340,431	固定負債	70,018
流動資産	140,884	流動負債	13,393
		繰延収益	55,917
		負債合計	139,328
		資本金	214,052
		剰余金	127,935
		資本合計	341,987
資産合計	481,315	負債資本合計	481,315

(別表)

3. 企業債残高明細 (令和2年3月31日現在)

(単位 千円)

借入先	前年度末残高	令和元年度		本年度末残高	償還終期
		借入額	償還額		
地方公共団体 金融機構	36,757	0	3,258	33,499	令和12年3月
中国銀行	35,000	0	2,918	32,082	令和13年3月
合計	71,757	0	6,176	65,581	

4. 令和2年度予算の概要

収益的収支

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	37,200
(2) 営業外収益	4,800
総収益(1)+(2) A	42,000
(3) 営業費用	26,800
(4) 営業外費用外	4,200
総費用(3)+(4) B	31,000
差引 A-B	11,000

資本的収支

(単位 千円)

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
工事負担金	380	建設改良費	350
		企業債償還金外	6,250
計	380	計	6,600

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額622万円は、過年度分損益勘定留保資金並びに減債積立金等で補てんするものとする。